

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

企 画 部 No.1

学 区	事 項	要 旨	執 行 方 針 及 び 検 討 状 況
勝田二中学区	スマイルあおぞらバス停留所へのベンチの設置について	津田西山地区では、スマイルあおぞらバス（コミバス）に乗り遅れまいと、長い時間立ち待ちをしている高齢者を見かける。雨天時には座り込むこともできず、辛い思いをしているように感じるため、コミバスの停留所にベンチを設置できないか。	スマイルあおぞらバスの西山団地入口バス停留所へのベンチについては、バス停留所に隣接する土地の所有者の了解を得て、平成27年3月12日に設置しました。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

学 区	事 項	要 旨	執行方針及び検討状況
勝田三中学区	空き家対策について	自治会内で高齢化により空き家が増加し、空家率6.4%、今後も増加する傾向で、国や自治体は対策に本腰を入れ始めている。市としてこの問題に対する条例の制定など準備の有無、取り組みの状況を教えて欲しい。	平成25年4月、空き家に関する総合窓口を設置し、情報の一元化を図りました。また、平成27年1月から、把握している空き家の現況調査を実施しており、今後、市では法に基づき「空家等対策計画」を策定し、これら取り組みを進める中で、即時執行など法では対応できない空き家に関わる問題について検証し、地域の実情に合った条例の制定を進めてまいります。
佐野中学区	自治会未加入者への対応について	自治会への入会は、任意であるが、未加入のアパート住人(特に若い人)や災害時要支援者など、広報紙等の配布や避難救護の関係で苦慮している。 例えば、転入届の手続きの際、該当自治会を伝え、加入を斡旋するとか、市として何か出来るものがあるのではないか。	自治会加入促進策として、転入者に対する加入案内を市民課窓口で配布しているほか、市報等でも随時加入促進の記事掲載を行っています。また、キャンペーンとして、市関係窓口やコミュニティセンター等の窓口に自治会加入促進ののぼり旗を提示し啓発を行いました。 さらに自治会活動の魅力を発信するため、平成26年度の産業交流フェアにおいて、自治会の様々な取り組みをパネル化し、啓発に努めました。今後、高齢化社会における自治会活動の在り方を再検証し、一人でも多くの市民が地域自治へ参加いただけるよう今後も推奨してまいります。
那珂湊中学区	北神敷台地区交差点への信号機設置について	県道那珂湊・大洗線(和田町常陸海浜公園線)は、朝夕の通勤通学時間には交通量が多く、危険な交差点であることから、北神敷台交差点に信号機の設置を要望する。	信号機の設置については警察の管轄となるため、平成26年7月に所管するひたちなか警察署へ信号機設置の申し入れを行いました。 当該交差点は、通学路の区間に位置していることから、児童及び市民の安全を確保するため、引き続き警察と協議を進めてまいります。
	川鶉対策について	田宮原地内(新堤)の山林に多数の川鶉が住み着き、山林の樹木は糞で白く枯れている。また川鶉の飛行経路の下では、糞が、住民の車や住宅の屋根、ベランダ等に落下している。住民の健康と快適な住環境づくりの観点から、調査と対策をお願いしたい。	約2か月毎(6, 8, 10, 12月)に現場確認を行い、茨城県水産振興課に情報提供(現場写真等)しております。県においては、平成26年12月と平成27年3月に生育状況調査を実施しました。今後は、調査結果等に基づき、市が参加する県カワウ対策協議会を通じて、対策を協議してまいります。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

福 祉 部 No. 3

学 区	事 項	要 旨	執 行 方 針 及 び 検 討 状 況
勝田一中学区	敬老の日の敬老者を敬い方について	現在の敬老会事業を改め、健康づくりなどの新たな仕掛けを加えるなど、実施方法等の議論を市民会議に託してはどうか。	本件については、地域において議論していただくよう回答いたしました。また、現在のところ市民会議等において集約された意見は出されていないため、次年度の敬老会事業については従来どおり実施する予定です。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

建設部 No.4

学区	事項	要旨	執行方針及び検討状況
勝田三中学区	本郷川転落防止対策の進捗状況・環境対策について	本郷川水系の用水路への転落事故が今までに3件起きている。そのうちの1回は重傷を負っている。そういう状況の中、対応策はどうか。また、以前に蓋掛けの検討をする旨報告されたがそれも行わない。今後について具体的な対応策を伺う。	事故は、水路に隣接している住宅から、自由に出入りして水路敷き内で花壇や家庭菜園等を作っていることが原因と考えられることから、水路に架かる橋と道路のすき間からの出入りを禁止する立ち入り防止柵と看板を設置しました。また、水路敷き内への立ち入り禁止のお知らせを自治会を経由し、回覧しました。
佐野中学区	柏野団地雨水側溝改善について	柏野団地の側溝について、雨量が多いときは下流で雨水が溢れる。団地全体で改善策を講じて欲しい。	団地の側溝について、全体的な改修工事を行うことは困難です。今後も雨水の流れを良くするように個別に対応してまいります。
	高野小松原線の進捗状況について	高野小松原線の進捗状況と開通時期はいつになるのか。	工事は、現在未買収の箇所75mのみを残している状況です。用地取得に向けて引続き交渉を進め、用地が確保出来しだい工事を発注し、速やかに完了いたします。
那珂湊中学区	公共下水道への接続について	旧那珂湊地区の下水道への接続率が低いが、接続率向上のための対策は今後どうしていくのか	下水道への接続率向上のため、水洗化普及指導員による個別訪問を行い指導するとともに、年4回強化月間を設け下水道課職員による個別指導を行いました。その結果、那珂湊地区において107世帯が下水道へ接続しました。引き続き、接続するよう指導してまいります。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

学 区	事 項	要 旨	執行方針及び検討状況
平磯中学区	磯合住宅跡地の利用について	磯合住宅跡地の有効利用として、高齢者のためのグランドゴルフの整備、トイレ、ベンチ等の設置や樹木の植林をお願いしたい。	磯合住宅跡地利用については、まず平成27年度に跡地と民地の官民境界の確認を行う必要があります。また、跡地内の通路についても生活道路として使用されていることから、市道として認定することが必要であると考えています。跡地の利活用については、地域の皆様のご意見を伺いながら、検討してまいります。
	平磯地区公共下水道整備について	合併処理浄化槽の耐用年数が過ぎていて劣化が激しい、平磯地区の下水道整備を実施してもらいたい。	現在、平磯地区は下水道法の規定による事業計画において、下水道整備区域としての位置付けがされていないため、下水道整備を行うことができません。次の事業計画の見直しは、平成30年度に予定していますが、新たに公共下水道の整備を行う区域の選定にあたっては、下水道を整備しても下水道への接続が進まない地域もあることなどから、合併処理浄化槽の設置状況、土地の利用状況等を考慮しながら優先順位を定め、区域の選定を行う予定です。 平磯地区の下水道整備対象区域としての位置付けについては、他の地域と同様に合併処理浄化槽の設置状況等を勘案しながら検討してまいります。
阿字ヶ浦中学区	通学路の安全確保について	県道磯崎港線の歩道未整備部分の道路整備を早急をお願いしたい。	平成26年6月30日に大宮土木事務所に対し、早期にひたちなか市に移管するよう要請しました。県道磯崎港線が移管されれば、すみやかに歩道整備を行います。
	県道磯崎港線の街路樹の剪定について	県道磯崎港線の日立建機交差点信号の街路樹の枝により信号が見づらい、剪定をお願いしたい。	平成26年6月30日に大宮土木事務所に対し、早急に剪定するよう要請しましたが、大宮土木事務所では現地を確認した結果、まだ剪定するには至らないと判断したところです。ただし、平成27年度以降、路線ごとに強剪定を行なっていく予定との報告を受けています。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

都 市 整 備 部 No.6

学 区	事 項	要 旨	執 行 方 針 及 び 検 討 状 況
勝田三中学区・大島中学区	西原・下谷地区の通学路について	西原・下谷地区の児童・生徒は、外野小・大島中への適切な通学路がないため、東石川長砂線を使うなど遠回りを強いられている。新六ツ野公園整備に合わせて、周辺の道路整備の計画はあるのか。また、東石川高野線の整備計画を教えて欲しい。	<p>六ッ野土地区画整理事業の新規の都市計画道路3路線は未完成で、六ッ野土地区画整理事業は、見直しにより完了まで見直し後20年、その内前半10年で都市計画道路を中心とする整備とされていることから、安全な通学路となる都市計画道路は、概ね10年間の整備を計画しています。東石川六ッ野線は、中心部の骨格として、山口内科クリニックから六ッ野スポーツの杜公園入口付近までは平成29年度の完成を目指します。東石川高野線については、平成33～34年頃に全線開通する計画で、本年度、地区外北側の未改良部分を含めて基本設計を実施しました。</p> <p>また、六ッ野スポーツの杜公園については、平成29年度の完成を目指して、本年度は基本設計を行っており、整備に合わせて下谷地区方面からのアクセス性の向上も図る必要があることから、接続する道路や通路についても、今後整備を検討してまいります。</p> <p>通学路については安全性の問題もあることから、地元や学校とも相談して対応してまいります。</p>
勝田二中学区	堀口小通学路の整備について	堀口小校庭への暫定通学路については、まだ半分が未整備であり、整備を継続して欲しい。	暫定通学路（通路）整備に伴う残りの約半分については、家屋移転（2戸）が伴うため、平成25年度より移転先の選定や補償内容等について関係権利者と交渉を進めてまいりました。平成27年4月6日に、安全な暫定通学路全体を供用開始したところです。

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

都 市 整 備 部 No. 7

学 区	事 項	要 旨	執 行 方 針 及 び 検 討 状 況
那珂湊中学区	和田町常陸海浜公園線の計画スケジュールについて	和田町常陸海浜公園線については、災害時の避難道路として、また、那珂湊地区の交通渋滞を解消する道路として重要であるが、スケジュールや完成時期を明確にして欲しい。	<p>和田町常陸海浜公園線については、湊線との平面交差への都市計画変更が課題となっていました。変更に係る諸手続きを進めており、平成27年4月6日変更決定されました。</p> <p>和田町常陸海浜公園線の整備については、権利者との合意形成を図りながら、平成31年度の完了を目指して進めてまいります。</p>
阿字ヶ浦中学区	信号機の設置について	和田町常陸海浜公園線と阿字ヶ浦中央通線の交差点に、信号機を設置して欲しい。	<p>信号機設置を公安委員会に上申する判断条件等について、所轄であるひたちなか警察署と平成26年6月に協議を行い、条件の一つである和田町常陸海浜公園線と阿字ヶ浦中央通り線の交差点付近の狭隘部分の解消を早期に図りながら、継続して協議を進めてまいります。</p> <p>狭隘部分の整備については、権利者との合意形成を図りながら、平成28年度の完了を目指して進めてまいります。</p>

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

学 区	事 項	要 旨	執 行 方 針 及 び 検 討 状 況
大島中学区	市PTA連絡協議会ホームページへのアクセスについて	現在，市PTA連絡協議会のホームページは，教育委員会のホームページに掲載されているが，情報が下の方に掲載されていて探すため，教育委員会のホームページを開いたら，すぐに目に付く場所に掲載して欲しい。	教育委員会のホームページ上に，市PTA連絡協議会のリンクを貼りアクセスしやすいように改良しました。
田彦中地区	田彦中学校体育館側の道路について	狭く入りくんでおり，死角が多く過去にも接触・子供の飛び出し・車のすれ違いによりニアミスや，30Kゾーンになっても以前と同じである。市の見解を伺いたい。	「止まれ」の路面表示が薄くなっているものについては，再表示いたしました。カーブミラーについては，2基を新たに設置いたしました。また，児童の交通安全への対応については，更に強化するよう田彦小学校へ要請いたしました。
	いじめ問題について	いじめ問題に対する対策として「いじめ防止条例」を制定して欲しい。	平成26年度，市の「いじめ防止基本方針」に基づき市内全小中学校に「学校いじめ防止基本方針」を策定するとともに，学校にいじめ問題対応の組織を設置し，教師による観察，相談活動や生活アンケート等によるいじめの予防対策，早期発見・対応を組織的に行っています。 また，本市にもいじめ問題のための組織を設置し，学校だけでは対応が困難なケースについては，市教育研究所を中心に，福祉関係，警察等の専門機関と連携し，適切に対応してまいります。 このようなことから，「いじめ防止条例」を制定することは考えておりません



平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

教育委員会事務局 No. 9

学 区	事 項	要 旨	執行方針及び検討状況
平磯中学地区	平磯と磯崎の間に学校を建てる件について	<p>市民会議のテーマとして取りまとめ、市の関係部署に提出したが、その後の進捗状況を聞かせて欲しい。</p>	<p>ひたちなか市立小・中学校適正規模・適正配置基本方針を平成24年2月に策定して以降、平磯・磯崎・阿字ヶ浦地区の自治会や地域コミュニティ、PTAの方々と、学校の適正規模や適正配置、これからの学校の在り方についての意見交換会を継続して開催し、また、保護者を対象としたアンケートの実施により、たくさんの方の意見をいただきました</p> <p>教育委員会としては、様々な意見を参考としたうえで、クラス替えが可能となる各学年2学級以上の規模を確保し、また、新しい教育理念に基づいた学校教育を推進するために、小中一貫教育学校を導入したいと考え、平成27年2月にPTAや地域の方々へその考えを示したところです。</p>
阿字ヶ浦中学地区	市立小・中学校の統廃合計画について	<p>教育施設の耐震化計画と学校適正化計画との整合について、及びそのスケジュールと今後の考え方を伺う。</p> <p>耐震化整備が他市町村と比べて遅いように思われるがその理由は何か。</p>	<p>教育施設の耐震化については、市内小中学校の全校舎数146棟のうち、耐震化整備校舎数はその半数以上の91棟で、その数が多いことが事業完了まで期間を要する理由の一つです。最終的には、平成29年度までに全て終了させる計画です。</p> <p>学校の統廃合や学校規模の適正化については、保護者や地域住民との協議によって合意が得られた場合に立案するものと考えています。</p>

平成26年度市政懇談会懸案事項検討調書

教育委員会事務局 No. 10

学 区	事 項	要 旨	執行方針及び検討状況
阿字ヶ浦中学地区	小・中一貫教育と通学区域の見直しについて	<p>阿字ヶ浦地区は小中1校ずつあるので小中一貫教育の条件が整っていると思われるが、「小規模特認校」制度を導入する考えはないか。</p> <p>また、隣接する西十三奉行地区を阿字ヶ浦の通学区域に編入してはいかがか。そして、西十三奉行の住宅団地の児童生徒に阿字ヶ浦小中学校に入学できるよう「選択権」を与える考えはないか。</p>	<p>教育委員会としては、一定の規模を確保した小中一貫教育学校を導入したいと考えているところであり、小規模特認校制度の導入や通学区域の見直しについては、今後、保護者や地域住民の方々との協議を継続していく中でも議論されることと思われるが、現在のところ小規模特認校制度の導入や通学区域の見直し等の予定はありません。</p>
	阿字ヶ浦、磯崎、平磯地区における小・中学校の統廃合について	<p>小・中学校のPTAと教育委員会で何度か協議を行っているそうだが、現時点における市内部の方針や検討の進捗状況を伺う。</p> <p>今後、磯崎・平磯地区の方々と話し合いを持つ必要があると考えるので、阿字ヶ浦地区の役員を協議のメンバーに加えて欲しい。</p>	<p>教育委員会としては、一定の規模を確保した小中一貫教育学校を導入したいと考えていることについて、5校のPTA役員、平磯中学区の自治会等及び阿字ヶ浦中学区の自治会等へお示ししたところです。この叩き台となる素案を基にして検討を進めるにあたっては、それぞれの関係者に参画していただき、一堂に会して協議したいと考えています。</p>
	阿中のグラウンドの埃について	<p>阿中のグラウンドのホコリが大変すごく、周辺の住民の批判がでているので、対策を講じて欲しい。</p>	<p>グラウンド北面の既存防砂ネットの上段に、更に防砂ネットを1段追加する工事を発注済みで、平成27年5月中旬に完了する見込みです。</p>